

中学生等を対象としたキャリア教育実施要領

1 目的

北薩地域管内（阿久根市、出水市、長島町）の中学生等を対象として、管内の企業・団体等の職員等が講師となり、関係市町教育委員会等と連携したキャリア教育を実施する仕組み作りをモデル的に行うことを通じ、地元で働くことの意義や職業観の育成及び北薩地域の企業等の知名度の向上を図る。

2 現状・課題

高校生の県内就職率は年々上昇傾向にあり、令和6年3月卒の北薩地域における就職率（56.0%）は、県全体の率（59.7%）を下回っており、人材需要が高まる中、地元企業の人材確保が必要な状況にある。

そのような中、令和5年3月に県が行った「鹿児島県人材確保・移住調査」によると、約4割の高校生が、県内企業の情報を把握していないことも一つの要因と考えられる。

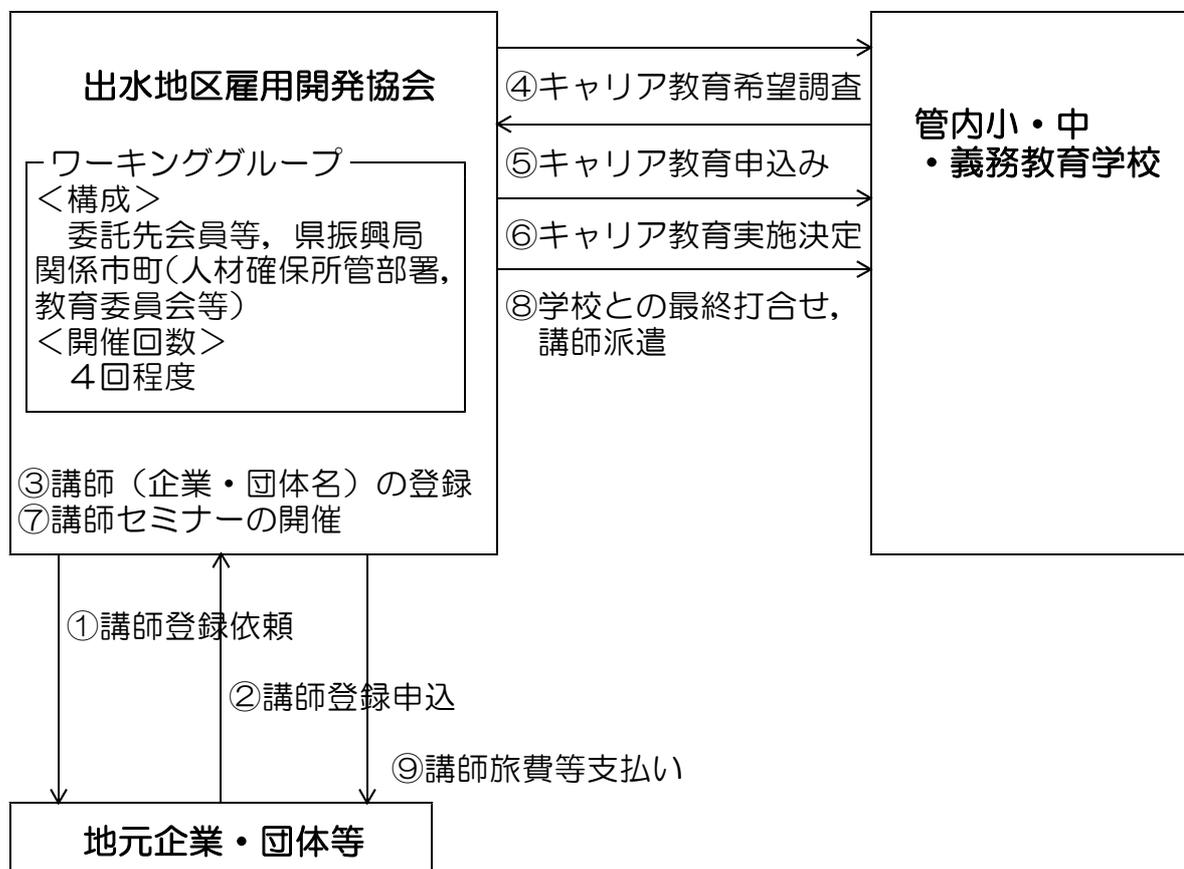
そのため、北薩地域の企業等の知名度を向上し、地元への就職率を高めるためには、地域独自のキャリア教育の派遣システムを構築し、中学生等が地元で働きたくするキャリア教育を実施する必要がある。

3 実施主体

鹿児島県北薩地域振興局（委託先：出水地区雇用開発協会）

※ 委託先を中心に、管内市町、市町教育委員会、小・中・義務教育学校、商工会議所、商工会及び企業等の協力を得て実施体制を構築し、キャリア教育を実施する。

4 実施体制及びキャリア教育実施の流れ



5 キャリア教育の構成・内容

① キャリア教育の実施方針

ア 職業人の講話を通じて、小中学生が将来の職業や自己の適性について考える機会を提供し、より主体的な進路選択能力の向上に努める。

イ 小中学生が働く人々に接しその姿や考え方を見聞きすることにより、職業の社会的な役割や意義、生き方について考えてもらい、望ましい職業観の育成に努める。

ウ 小中学生に社会生活や職業生活を営む上でのマナー・ルールとしての規律や礼儀、言葉遣いなどの大切さを知ってもらい、将来求められる社会人・職業人としての適応力の向上に努める。

エ 小中学生に地域社会に対する理解を深めさせるとともに、職業選択の可能性を拡大するよう努める。

オ 小中学生が地元企業の方（講師）の話を聞くことで、地元企業をよく知り、地元就職をイメージできるよう努める。

② 地元企業の講師による講話内容

ア 企業・団体の事業内容紹介や社員の仕事内容等の説明

イ 職業選択の大切さ、必要な適性や能力、資格、進路などの説明

ウ 地元で働くことの意義、職業人としてのやりがいや厳しい側面などの説明

エ 将来を担う若者たちに対する激励

オ 質疑応答

③ 実施方法

ア 学校側が希望する職種の方を講師に招き、授業形式で講話を実施する。

イ 講師は、初年度は次の9業種の方々をお願いできるよう講師（企業・団体名）の登録を進めるとともに、学校側の希望に最大限配慮した対応を行う。

- ① 建設業関係
- ② 製造業関係
- ③ 小売業関係
- ④ 運輸業関係
- ⑤ 金融業・保険業関係
- ⑥ サービス業
- ⑦ 医療福祉業関係
- ⑧ 農林水産業関係
- ⑨ その他（公務員等）

ウ 授業は、生徒を数班に分け、生徒が希望する職業講話を聞いてもらう。

エ 講話時間は、質疑応答を含め、原則として30分～60分とするが、学校側の希望に最大限配慮する。

6 キャリア教育を行う中学校等の募集方法等

① キャリア教育の募集方法

管内各市町教育委員会の協力を得て、各校で実施するキャリア教育に委託先が行うキャリア教育が組み込めるよう各学校長宛にキャリア教育の依頼文（実施希望調査の照会を含む）を発出するとともに、必要に応じて学校訪問を行うほか、当協会（出水商工会議所）のホームページにも掲載する。

なお、募集に当たっては、別途「募集要項」を定める。

② キャリア教育の申込及び決定方法

上記①の周知の結果、キャリア教育として講師派遣を希望する学校においては、委託先に対して、事前にキャリア教育講師派遣申込をしてもらい、講師派遣の有無等について通知する。

7 講師となる企業等の募集方法等

① 講師の募集・登録方法

管内関係機関や団体等の協力を得て、各学校で実施するキャリア教育に係る講師（企業・団体名）の登録制度について依頼文を発出するとともに、必要に応じて企業・団体訪問を行うほか、当協会（出水商工会議所）のホームページにも掲載する。

なお、募集に当たっては、別途「募集要項」を定める。

② 講師（企業・団体名）の登録方法

上記①の周知の結果、キャリア教育として講師の登録を希望する企業・団体においては、当協会に対して、事前にキャリア教育講師登録申込をしてもらい、当協会において検討の上、登録の有無等について関係企業・団体へ通知します。

また、登録の都度、当協会（出水商工会議所）のホームページに掲載する。

8 キャリア教育参加者（中学生等，企業等）へのアンケートの実施

キャリア教育の実施の都度、その参加した小中学生や講師（企業・団体等）に対するアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、キャリア教育の実施方法等について改善等を加える。

なお、アンケート内容（案）は別添のとおり。

9 その他

目的を達成するためには、学校や企業・団体などの関係者との連携が必須であることから、事業実施に当たっては、委託先にキャリア教育実施のためのワーキンググループを設置し、事業の進捗管理を含めた事業の効果的な実施について検討する。

<ワーキンググループの概要>

① 組織体制

協会会員、協会事務局、関係市町（人材確保所管部署や教育委員会等）、県振興局など

② 検討項目

- ・キャリア教育の持続可能な仕組みづくり
- ・キャリア教育の構成や内容
- ・中学校等や企業等の募集方法
- ・アンケートの実施項目や実施方法、分析 など